

壁新聞

portal newsletter

発行：株式会社バンダイナムコフィルムワークス 広報チーム

contents

- 「サンライズ50周年」プロジェクト始動！
- ・「サンライズ50周年」プロジェクトとは
 - ・「サンライズブランド」のあゆみと展望
 - ・担当者インタビュー
 - ・TOPICS 50周年記念作品公開！！

「サンライズ 50周年」 プロジェクト始動！



2026～2028年をアニバーサリー期間として、長きにわたり作品を支えてくださったファンの皆様へ感謝の気持ちをお伝えするとともに、サンライズブランドの認知拡大を目指す記念事業を続々展開！





サンライズ50周年

—記念ロゴ—

『カウボーイビバップ』、『STEAM BOY』等、数多くの作品のロゴやグラフィックを手掛けられたグラフィックデザイナー／アートディレクターの上杉季明氏（マッハ55号）に担当いただきました。



サンライズ50周年

—ティザービジュアル—

『大友克洋GENGA展』メインビジュアルや、Oasisデビュー30周年記念バンドロゴなどを手掛けられたグラフィックデザイナー／アートディレクターの河村康輔氏に担当いただきました。迫力あるデザインは15作品※をコラージュしています。（※ バンダイナムコピクチャーズ承継作品を含む）



サンライズ50周年

—キャッチフレーズ—

『太陽の牙ダグラム』、『装甲騎兵ボトムズ』など長年サンライズ作品にご参加いただいている演出家／監督の高橋良輔氏に考案および直筆による筆文字を制作いただきました。

「サンライズ50周年」プロジェクトとは

1977年放送開始の『無敵超人ザンボット3』を皮切りに、半世紀にわたり培ってきた「サンライズ」のブランド価値を再定義し、国内外へさらなる認知拡大を図るため、様々な部署横断で構成されたプロジェクトです。2026～2028年の3年間を通して今後さらなる50年へと続く「サンライズブランド」の魅力を世界中に発信していきます。



『無敵超人ザンボット3』

「サンライズブランド」のあゆみと展望

ガンダムシリーズや『装甲騎兵ボトムズ』をはじめとするリアルロボットアニメの先駆者として現代のアニメ表現に多大な影響を与える一方、ラブライブ！シリーズなど幅広いジャンルのオリジナル作品を中心に500以上※のタイトルを世に送り出しています。本プロジェクト期間中もSUNRISE studiosによる新作の展開を控えており、未来に向けて日本のアニメが持つ可能性を追求し続けていきます。（※『アイカツ!』や『銀魂』などバンダイナムコピクチャーズ承継作品含む）

ティザービジュアル15作品の放送年表

1970's	無敵超人ザンボット3 (1977)
	機動戦士ガンダム (1979)
1980's	聖戦士ダンバイン (1983)
	装甲騎兵ボトムズ (1983)
	シティーハンター (1987)
	魔神英雄伝ワタル (1988)
1990's	勇者エクスカイザー (1990)
	新世紀GPXサイバーフォーミュラ (1991)
	カウボーイビバップ (1998)
2000's	犬夜叉 (2000)
	銀魂 (2006)
	コードギアス 反逆のルルーシュ (2006)
2010's	TIGER & BUNNY (2011)
	アイカツ! (2012)
	ラブライブ! (2013)

担当者インタビュー

「サンライズブランド」の魅力とは？

私が考える「サンライズブランド」の魅力は、第1作目『無敵超人ザンボット3』をはじめ、長年にわたり日本のリアルロボットアニメの制作会社の先駆け、というイメージに加えて、時代ごとのメディアミックスなどの多様性を考えながら、多くのクリエイターの想いを「映像作品」として具現化していることです。また、幅広いジャンルのオリジナル作品を中心に制作しているSUNRISE studiosは稀有なプロダクションで、それがファンを魅了し続けているのでは、と感じています。

今回のプロジェクトで大事にしていることは？

ファンの皆様への感謝と、多くのクリエイターの皆様への敬意を表していくとともに、これまでの50年間を振り返りつつ、サンライズブランドの「認知と価値を最大限にアピール」「世代を超えて魅力を伝える」そして「SUNRISE studiosはアニメをつくり続ける」ことを、国内外へ発信していく最大の

機会なので、様々な形で新たな可能性を探っていくことを意識しています。

ファンの皆様へメッセージをお願いします。

ファンの皆様や今の世代の方々に、次（未来）に向けたメッセージを、様々な施策を通じて体験し・出会い・知る機会と場をお届けしたいと考えております。50周年をひと区切りではなく、その後の70周年、100周年へと繋げていきたいと考えておりますので、今後も応援よろしく願いいたします！

バンダイナムコフィルムワークス

ライセンス事業部 中島 幸治（なかじま こうじ）

2003年サンライズ（現バンダイナムコフィルムワークス）に入社後、ガンダムシリーズ関連の出版・商品などのライツ業務、『機動戦士ガンダム MS IGLOO』等の広報プロモート、『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』等の企画営業、MD事業などを担当。現在は「サンライズロボット研究所 実験動画」企画プロデューサー、「サンライズワールド」6店舗の運営統括、「サンライズ50周年」プロジェクトを担当している。



TOPICS

サンライズ50周年記念作品

『装甲騎兵ボトムズ 灰色の魔女^{ヘクセ}』を2026年より展開!!

「サンライズブランド」を代表する作品の一つである『装甲騎兵ボトムズ』の新作アニメーションをサンライズ50周年記念作品として制作し2026年より展開いたします。監督に押井守氏、アニメーション制作はサンライズ、制作協力 Production I.Gの強力タッグが実現しました。

『装甲騎兵ボトムズ』とは

監督・高橋良輔氏、制作・サンライズによるリアルロボットアニメで、1983～84年にテレビシリーズが放送されてから、OVA、外伝、劇場版、イベント上映、書籍化など様々な展開がされ、40年以上にわたり愛され続けています。



サンライズ50周年プロジェクト公式サイト

<https://www.sunrise-inc.co.jp/50th/>

サンライズ50周年記念作品 『装甲騎兵ボトムズ 灰色の魔女』

公式サイト
<http://votoms-gh.com>

公式X
[@votoms_gh](https://twitter.com/votoms_gh)

©創通・サンライズ ©サンライズ © 北条司／コアミックス・読売テレビ・サンライズ ©サンライズ・R ©SUNRISE ©高橋留美子／小学館・読売テレビ・サンライズ 2000
©空知英秋／集英社・テレビ東京・電通・BNP・アニプレックス ©SUNRISE/PROJECT L-GEASS Character Design ©2006-2017 CLAMP・ST ©BNP/T&B PARTNERS
©BNP/BANDAI, DENTSU, TV TOKYO ©2013 プロジェクトラブライブ!